

回覧					
施設長	事務局	GH1F課長	GH2F課長	GH3F課長	介護部長

第17回グループホーム運営推進会議議事録

開催日：平成21年7月15日（水） 16：00～16：30

開催場所：コモドヴィータ下館デイサービスにて

1. 開会

2. 職員紹介 GH3F課長

3. 出席者（敬称略順不同）

筑西市役所介護保険課 渡邊 首藤
 株式会社ヒューマンサポート 代表取締役（代理） 久野 久枝
 事務部長 山中 賢
 下館胃腸科医院事務長 松島 進
 筑西市社会福祉協議会 大類 勝也
 GH介護部長 野口 みどり
 1階（すずらん）管理者（課長）田中 万里子
 2階（ねむの木）管理者（課長）荒川 恵
 3階（れんげ草）管理者（課長）中井 明美
 利用者代表者 鈴木 倉八郎 水柿 直子
 地域住民代表者 信田 博 野口 武男
 利用者の家族代表者 倉持 千枝

4. 協議事項

1) コモドヴィータ下館ボランティア活動とこれからの予定報告

- ・7月 5日（日） 小笠原音楽教室（小・中・高校生）ハンドベルPM1：30～
- ・7月23日（木） のぼらの会（読み語り）PM2：00～GH2Fにて
- ・8月13日（木） のぼらの会（読み語り）PM2：00～特定3Fにて
- ・8月23日（日） 第1回コモド祭り・納涼祭 PM2：00～4：00
 主な出し物 フラダンス バンド 太鼓 輪投げ かき氷 焼きそば
 ポップコーン 駄菓子屋 飲み物（ビール）他

※地域の方々への参加、お声がけをお願いした

2) 日常の様子について各階からの報告

GH1F：現在の状況はどなたかが、熱発されたり、通院されたりの日ですが、経過は良い方向に向かっています。お食事は食欲もあり、声かけしながら自力摂取されています。当たり前のことなのですが、食事は健康管理上大切なことなので、スタッフ一同頑張っております。5月28日（木）はグループホーム全体のレクリエーションとして、デイサービスの渡邊部長による、そば打ち、うどん打ちの実演会が行われました。目の前でそばやうどんを打ってくださり、それをお昼に全員で頂きました。つゆと具がとても美味しく、または是非こういう機会を作ってほしいと、入居者様の意見がありました。また、デイサービスの方々から鶴のお箸入れを折り紙で作ってくださったものを見て「長生きできそうだ」と喜ばれていました。ゆでている間にGH1F、2F、3Fの合同で5月生まれのお誕生会を行いました。参加人数も多く、皆様にお祝いされて賑やかな一時を過ごされました。

GH2F：6月、GH2Fで毎日の話題となっていたことがあります。

それは「カタツムリ」です。スタッフが、あじさいを持ってきたのですが、葉っぱについていたのです入れ物に葉っぱと花を入れ、ラップに穴を開けフタがわりに・・・皆様、毎朝起床してすぐに「カタツムリは？」と聞かれていました。普段あまり話さない利用者も、「カタツムリ」「ここについている」等とても、かわいがられてました。名前は決まった名前はなく、皆様個々に、好きなように呼ばれていました。「デンデン」「デンちゃん」「カタちゃん」「毎日、名前が違うね」と、皆様笑われていました。1週間程で皆様で、GH前の庭へ放しました。7月には、GH合同で七夕祭りを行いました。願い事はさまざまで、「まぐろをいっぱい食べたい」「歌がもっとうまくなりたい」等いろいろありました。外へ行けない方には、フロアへ持ってきて飾りつけを行いました。8月には、スイカ割り、又、デイサービスのスタッフが、流しソーメンを行ってくれる予定ですので、皆様楽しんで頂けたら・・・と思っています。

GH3F：特定施設から異動になって、まだ、半月程ですので十分把握していませんが、余暇活動の折り紙等を行っています。これからも、GH合同レク行事を皆さんに楽しんでいただけるよう支援していきたい。

3) 前回の外部評価で課題となった点・本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働
重度化や終末期に向けた方針の共有について

GH1F：「ターミナルケア」について

終末期のことについては会社と個人の契約になると思います。具体的にはまだ明確にはなっておりませんが、それぞれの入居者様とご家族の気持ちを大切にして会社の方針に従い終末期のケアを行って参りたいと思います。

GH2F：サービス利用開始時では、終末期の指針は、作成しておらず、状態によって、対応については、看護部長へ相談のもと家族と話しあい説明のうえ承諾書を頂いている。利用者が急変し、終末期を迎える場合を想定し、契約時に指針を作成した方が良いのかもしれないですが、私個人としては、契約時には、家族の方にも、心配や不安はあるかと思えますので、すぐに、終末期の話をするのも、不安が大きくなってしまふのかな・・・と思います。状況を見て契約時にとるのではなく、タイミングを見て・・・。

GH3F：家族の考えを考慮して、書類の作成が必要

身体的・精神的にできる限り、負担をかけずに、普段と変わらない生活ができるようなケアをしていきたい。

入居時に書類を作成しても問題はないのでは、各人によって違う。

必ずしも、書類とらなくても良いのでは？

時期がきてから話をして書類をとると、クッションがあるのでは？と思う

市役所：慎重に考えたい問題です

最終的には書面で承諾書をいただきたい

信田様より：母が入居している

延命は個人的には断っている

取り越し苦労だと思う

面会なく、預けっぱなしの家族に限って文句をいう傾向がある

将来のことを考えてこの書類を参考にしたい

野口様より：月に一度か二度面会される家族は、体調がわかるが、面会をまったくせず、状態がわからない方には必要

その方、その方によって違う ケースバイケースだと思う

社協より：終末期の対応では書類をとるタイミングが難しい

体力が衰えた場合、こういう書類がありますと家族に紹介するのが良いのではないかと思う

まとめ：現在ある終末期の対応書類は、入居者様の状態を見て、必要と思われた段階で、家族等と相談し、いただくことにする

4) その他の意見

事務局より：入居状況 現在満床です ただし入院3名 待機者1名

季節柄脱水に注意するよう指導していきたい

野口様より：花火大会（小貝川）・下館のお祭り等への参加をする予定はないのか

→集中して見るのが難しく、昨年も参加されたのは、特定施設の方だけだった

外部で行われるイベントは、トイレの問題があり、GHの入居者様の参加は控えて

しまいがち、代わりに、コモドヴィータ下館で行う納涼祭や、施設に来てくださる子供

神輿を楽しんでいただこうと思っている

5) 次回予定の確認

・第18回グループホーム運営推進会議予定

H21年9月16日（水） 16：00～16：30